

【チェックリスト①】

(2025改)

一定期間内ならば、最新モデルに限らず、メーカーの何代前モデルでも対象となります。

1台の取得価格要件も確認を
機械装置:160万円以上
器具備品:30万円以上

該当設備の販売開始日が、
取得日から一定期間に属する
年度開始の日以後であること。

販売開始要件の確認

一定期間:
機械装置:10年以内
器具備品:6年以内

*申請者が当該設備メーカー以外の場合には、
右にメーカー名を記載ください。

例) 海外メーカー品の場合、海外メーカー名を記載

設備メーカー(製造事業者)記入欄

証明者
チェック欄

1. 該当 2. 非該当

<当該設備モデルについて>

型式【2023年式 A-01】

*メーカー名【】

販売開始年月:【2023年3月】

①販売開始年度:【2023年度】(※1)

「年度」とは1月1日から12月31日を指します。西暦で記入を。

取得等をする年月:【2025年5月】

②取得日を含む年度:【2025年度】

「取得等」とは設備の納入・検収終了までを指します(予定を含む)。

上記②-①=2年が一定期間の要件内

「年式」は、下の「販売開始年度」と同じ西暦となります。

該当要件

当該設備の一代前モデルと比較して
年平均1%以上の生産性向上
を達成している。(※2)

(※3) 比較すべき旧モデルが全く
ない場合には、右記載不要。

例: 時間当たりの処理数、
加工量(個/h・min・sec)

例: 完成品数/投入原料数、
良品数/完成品数 精度等

例: 加工(処理)速度、刃物交換時間、
段取時間、省人化、設置面積、
メンテナンス時間等

※設備の「金額」などは設備の生産性には
直接関係しないので相応しくありません。

「一代前モデル」と「当該モデル」それぞれ
の販売開始年度、指標データが記載され
た資料(仕様書、測定結果等)も添付く
ださい。

比較指標の説明が複雑な場合は、必要
事項を記載した「別紙(作成日、社名付)」
(自由形式)を作成ください。

1. 該当 2. 非該当

<比較指標>

*以下の1~3までのいずれかの指標で比較。

数字に丸をつけ、括弧内に具体的な指標内容を記入。

1. 単位時間当たり生産量【1時間あたりの加工量】

2. 歩留まり率【】

3. 投入コスト削減率【】

<一代前モデルの型式・販売開始年度>

型式【2020年式 A-00】

販売開始年度:【2020年度】

<「当該モデル」と「一代前モデル」の

販売開始年度差>【3年】

C

<指標数値>*比較指標の数値と単位を記入する。

一代前モデル【22個/h】 B

当該モデル【30個/h】 A

<生産性向上>*数値と算出式を記入する。

年平均【12%】

式: $\{(30-22) \div 22\} \div 3 \times 100 \div 12\%$

【年平均の算出式】 当該モデルの指標数値が一代前モデルより

▽小さくなる場合(加工時間、乾燥速度等) $\{(1/A - 1/B) \div 1/B\} \div C \times 100$

△大きくなる場合(加工量、送材速度等) $\{(A - B) \div B\} \div C \times 100$

該当要件への当否

1. 該当 2. 非該当

(※1)・販売開始年度は、カタログや仕様書等で確認できる、合理的な時期とすること。

・年度とはその年の1月1日から12月31日までの期間をいう。

(※2)・当該設備の製造事業者が製造した一代前モデルとの比較であり、ユーザーが現在使用の他社設備との比較ではない。

・新製品であっても、同一製造事業者内に類似する機能・性能をもった設備が存在する場合にはできる限り比較すること。

(※3)・比較する設備が全く無い場合は、類似品が全くないことを事業経過等から明確に証明する資料を提出すること。

・比較指標がなくとも、設備の概要、その新規性、生産性等の仕様を示す資料は提出すること。